

部分放電試験

電気技術グループ TEL 03-5530-2560 FAX 03-5530-2591

特徴

- 部分放電とは、電極間の絶縁体の不純物や空隙などの欠陥部分において、部分的に発生する放電のことをいいます。
- 本設備では、電気機器、電子部品、電気絶縁材料などで発生する部分放電を定量的に測定、評価することができます。

主な仕様

項目	仕様
型式	DAC-6050 総研電気(株)
制御部	電源コントローラ : DAC-WTC-2 部分放電測定器 : DAC-PD-3 部分放電アナライザ : DAC-PD-9 部分放電校正器 : DAC-CP-2
シールドボックス	寸法(内寸) : W55 × H95 × D70 (cm) 試験電圧 : 最大15 kVrms(50Hz~1kHz) 部分放電検出器 : DAC-PDE-2 結合コンデンサ : DAC-LCC-15(相当品)
シールドルーム	試験電圧 : 最大30 kVrms(50/60Hz) 部分放電検出器 : DAC-PDE-6 結合コンデンサ : DAC-LCC-30 依頼品の最大サイズ : 約1m角
ソフトウェア	V-Q試験 (印加電圧-放電電荷量特性) T-Q試験 (印加時間-放電電荷量特性) N-Q試験 (発生頻度-放電電荷量特性)
その他	試験規格 : JEC-0401 部分放電測定 測定時のノイズレベル : 10pC程度 最小測定電圧刻み : 20V程度



図1 装置外観
 左・中央)測定器・制御部 右)シールドボックス

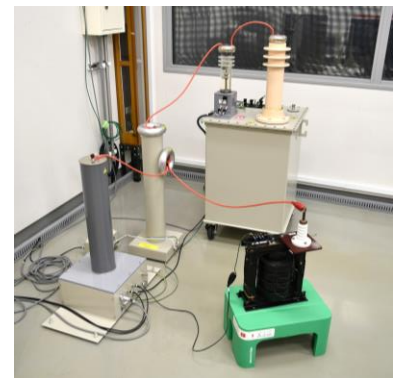


図2 シールドルームの測定

料金

依頼試験項目	コード	中小料金	一般料金
部分放電試験	1試験点につき TJ17111	4,820円	9,170円

活用事例

本設備では、パソコンで自動測定し、測定した結果をグラフ(図4)として出力することができます。試験品の大きさや試験内容に応じて、シールドボックスとシールドルームを使い分けます。

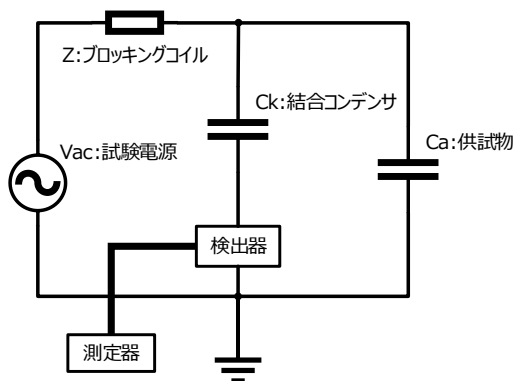


図3 測定回路

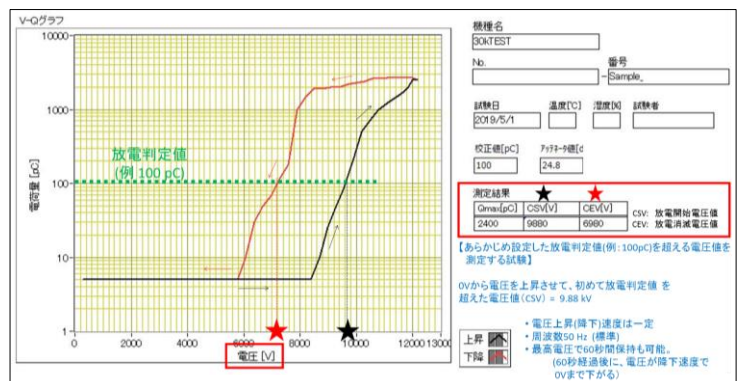


図4 V-Qグラフ (説明付き)